

8. 参考資料

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要(2006年3月31日時点)	152
8-2. 主要途上国の森林所管組織情報	165
8-3. 主要国DNA情報	166
8-4. DOE情報	167
8-5. A/R CDMに関係する日本の調査研究事業の一覧	168
8-6. 略語解説	172
8-7. 引用資料	174

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要 (2006年3月31日時点)

ARNM0001、5、13のプロジェクト概要

EB19、EB20でC判定

A/R WG Round10で審査予定

プロジェクト名	The Mountain Pine Ridge Reforestation Project
ホスト国 及び実施者	・ベリーズ国 ・Silviculture Belize Ltd.(ベリーズ) ・The Mountain Pine Ridge Forest Company Ltd.(ベリーズ) ・Brinkman & Associates Reforestation Ltd.(カナダ)
開始時期	2002/08(30年間)
想定されるCER量	1,848,000 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	・ベリーズ国の国立公園内において、マツクイ虫被害により荒廃した森林における再植林プロジェクト ・植栽樹種:カリビアマツ ・対象面積:8,700 ha ・クレジットタイプ:ICER

ARNM0002のプロジェクト概要

EB19でC判定

プロジェクト名	Reforestation Project Using Native Species Around AES-Tiete Reservoirs
ホスト国 及び実施者	・ブラジル国 ・AES-Tiete S/A(ブラジル)
開始時期	2005/01(30年間)
想定されるCER量	5,287,550 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	・サンパウロ州に存在する4つのダム湖の湖岸において、毎年約500haを9年間にわたり再植林する ・植栽樹種:現地の郷土樹種約80種 ・対象面積:4,188 ha ・クレジットタイプ:ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0003のプロジェクト概要

EB20でC判定

プロジェクト名	The International Small Group & Tree Planting Program (TIST)
ホスト国 及び実施者	・タンザニア国 ・Ukuzaji Maendeleo Tanzania Ltd. (UMET) ・World Bank BioCarbon Fund
開始時期	2000/01(20年間×3)
想定されるCER量	5,394,835 t-CO ₂ (最初の20年間)
プロジェクトの概要	・タンザニアのTISTプログラムに則り、2,500の小規模グループ(20,000人の参加者)を通して575万本の植栽。・植栽樹種:郷土樹種や果樹などを59種 ・対象面積:180,000 ha内(1ha以下×数千グループ) ・クレジットタイプ:ICER

ARNM0004、0014のプロジェクト概要

EB20、EB23でC判定

プロジェクト名	'Treinta y Tres' afforestation combined with livestock intensification
ホスト国 及び実施者	・ウルグアイ国 ・Carbosur SRL(ウルグアイ)
開始時期	2006/03(20年間)
想定されるCER量	3,606,690 t-CO ₂ (最初の20年間)
プロジェクトの概要	・放牧地の管理・転換。植林によるCO ₂ 削減及び動物起源のメタン削減 ・植栽樹種:ユーカリ(<i>Eucalyptus grandis</i> 、 <i>Eucalyptus dunnii</i>) ・対象面積:18,973ha(植林10,000 ha、牧草地の改善4,100 ha、草地2,700 ha、非生産地2,173 ha) ・クレジットタイプ:ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0006のプロジェクト概要

EB21でC判定

プロジェクト名	Bagepalli CDM Afforestation Programme
ホスト国 及び実施者	・インド国 ・Women for Sustainable Development(インド)
開始時期	2006/01(30年間)
想定されるCER量	240,000 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模植林事業 ・周縁に住む農民・小作農を対象(72ヶ村が参加)とした、荒廃した牧草地、やせた農地における植林。・植栽樹種:アカシアや果樹(地域住民が選択) ・対象面積:1,383 ha ・クレジットタイプ:ICER

ARNM0007のプロジェクト概要

ARNM0007-revがA/R WG Round8で承認

プロジェクト名	Moldova Soil Conservation Project
ホスト国 及び実施者	・モルドバ国 ・State Forest Agency(モルドバ) ・世界銀行のPrototype Carbon Fund
開始時期	2002/10(20年間×3)
想定されるCER量	2,634,287 t-CO ₂ (20年間)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・資金不足による森林管理不足で荒れた土地への新規植林 ・植栽樹種:郷土樹種。主に<i>Robinia pseudoacacia</i>, <i>Populus sp.</i> ・対象面積:14,494 ha ・クレジットタイプ:ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0008のプロジェクト概要

EB21でC判定

プロジェクト名	Kikonda Forest Reserve Reforestation Project
ホスト国 及び実施者	・モルドバ国 ・global-woods AG(ドイツ) ・Sustainable Use of Biomass Ltd(ウガンダ)
開始時期	2002/03(20年間×3)
想定されるCER量	1,625,603 t-CO ₂ (20年間×3)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・停止中の国の植林プロジェクトの再開。荒廃地、草地への再植林 ・植栽樹種:カリビアマツ(外来種)、<i>Maesopsis eminii</i>(郷土樹種) ・対象面積:8,354 ha ・クレジットタイプ:ICER

ARNM0009のプロジェクト概要

EB21でC判定

プロジェクト名	Rio Aquidaban Reforestation Project
ホスト国 及び実施者	・パラグアイ国 ・Global-woods AG(ドイツ) ・Notary Gudrun Grimm(パラグアイ)
開始時期	2000/03(20年間×3)
想定されるCER量	166,017 t-CO ₂ (20年間×3)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・用材確保を含む、牧草地への植林 ・植栽樹種:ユーカリ(外来種),<i>Melia azedarach</i>(郷土樹種) ・対象面積:580 ha ・クレジットタイプ:ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0010のプロジェクト概要

EB22でA判定 → AR-AM0001として承認

プロジェクト名	Facilitating Reforestation for Guangxi Watershed Management in Pearl River Basin, China
ホスト国 及び実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・中国 ・Kangyuan Forest Farm, Cangwu County, P.R. China(中国) ・Fuyuan Forest Farm, Cangwu County, P.R. China(中国) ・Luhuan Forestry Development Company Ltd, Huanjiang County, P.R. China(中国) ・Xinghuan Forestry Development Company Ltd, Huanjiang County, P.R. China(中国)
開始時期	2006/01(30年間)
想定されるCER量	418,464 t-CO ₂ (2012年まで)、650,501 t-CO ₂ (2017年まで)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・荒地への再植林、換金作物植栽に伴う伐採圧の軽減 ・植栽樹種: ユーカリ、<i>P.massoniana</i>, <i>P.superba</i>, <i>Quercus</i>, <i>C.lanceolata</i>, <i>L.formosana</i> ・対象面積: 4,000 ha ・クレジットタイプ: ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0011、0021のプロジェクト概要

EB21でC判定

A/R WG Round9で審査予定

プロジェクト名	Choco-Manabi Corridor Reforestation and Conservation Carbon Project
ホスト国 及び実施者	・エクアドル国 ・リコー(日本) ・Maquipucuna Foundation(エクアドル) ・Susan Sheppard Foundation(エクアドル) ・Conservation International(エクアドル、日本) ・Jatun Sacha Foundation(エクアドル)
開始時期	2006/01(30年間)
想定されるCER量	183,185 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	・小規模植林事業 ・生物多様性ホットスポットにおける牧草地への植林。 ・植栽樹種: 現地の郷土樹種42種 ・対象面積: 523 ha ・クレジットタイプ: ICER

ARNM0012のプロジェクト概要

A/R WG Round10で審査予定

プロジェクト名	Afforestation or Reforestation project Activity implemented on unmanaged grassland
ホスト国 及び実施者	・ブラジル国 ・AES-Tiete S/A(ブラジル) ・IBRD、BioCF
開始時期	2004/01(20年間×3)
想定されるCER量	1,922,257 t-CO ₂ (最初の20年間)、2,745,596 t-CO ₂ (次の20年間)、2,524,658 t-CO ₂ (最後の20年間)
プロジェクトの概要	・未管理草地(生物多様性ホットスポットの1つ)への新規植林/再植林 ・植栽樹種: 現地の郷土樹種の先行種40種、非先行種40種 ・対象面積: 8,790 ha ・クレジットタイプ: tCER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0015のプロジェクト概要

A/R WG Round9にて再審査予定

プロジェクト名	Reforestation as Renewable Source of Wood Supplies for Industrial Use in Brazil
ホスト国 及び実施者	・ブラジル国 ・Plantar S/A(ブラジル) ・World Bank's Prototype Carbon Fund
開始時期	2001/06(30年間)
想定されるCER量	2,576 t-CO ₂ (28年間)
プロジェクトの概要	・木材生産とバイオマスエネルギー利用を目的とした再植林 ・植栽樹種:ユーカリ ・対象面積:11,683 ha ・クレジットタイプ:tCER

ARNM0016のプロジェクト概要

A/R WG Round7で非承認

プロジェクト名	"Los Eucalptus" Afforestation Project
ホスト国 及び実施者	・ウルグアイ国 ・Unidad Cambio Climatico(ウルグアイ) ・Los Eucalipus, SA(ウルグアイ) ・Oficina Espanola de Cambio Climatico(スペイン) ・Iberpapel Gestion, SA(スペイン)
開始時期	2001/09(30年間)
想定されるCER量	25,313,124 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	・サンパウロ州に存在する4つのダム湖の湖岸において、毎年約500haを9年間にわたり再植林する。 ・植栽樹種:ユーカリ ・対象面積:4,212 ha ・クレジットタイプ:tCER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0017のプロジェクト概要

A/R WG Round7において、見直しが必要であると事前勧告

プロジェクト名	Mexico Seawater Forestry project
ホスト国 及び実施者	・メキシコ国 ・The Seawater Foundation(メキシコ) ・IBRD ※BioCFへのクレジット売却を計画
開始時期	2006/01(20年間×3)
想定されるCER量	3,612,909 t-CO ₂ (20年間)
プロジェクトの概要	・荒廃した沿岸域へのマングローブの新規植林 ・植栽樹種: 現地の郷土樹種。 <i>Avicennia germinans</i> , <i>Conocarpus erectus</i> 等 ・対象面積: 10,152 ha ・クレジットタイプ: ICER

ARNM0018のプロジェクト概要

A/R WG Round8で承認

プロジェクト名	Assisted Natural Regeneration of Degraded Lands in Albania
ホスト国 及び実施者	・アルバニア国 ・General Directorate for Forests and Pastures ・IBRD, BioCarbon Fund
開始時期	2006/10(最低40年間)
想定されるCER量	414,919 t-CO ₂ (20年間)
プロジェクトの概要	・荒地への新規植林・再植林 ・植栽樹種: 郷土樹種の広葉樹(<i>Acer pseudoplatanus</i> など)・針葉樹(マツなど)、 159 外来種(<i>Robinia pseudoacasia</i> など) ・対象面積: 3,107 ha ・クレジットタイプ: ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0019のプロジェクト概要

A/R WG Round8において、見直しが必要であると事前勧告

プロジェクト名	Reforestation around Pico Bonito National Park, Honduras
ホスト国 及び実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンジュラス国 ・Fundacion Parque Nacional de Pico Bonito ・The Ecologic Development Fund ・The BioCarbon Fund of the World Bank ・Pico Bonito-Ecologic, SRL ・Individual Farmers
開始時期	2006/06(30年間)
想定されるCER量	824,482 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園の緩衝地帯への再植林。小規模アグロフォレストリー、荒廃地への郷土樹種による環境植林、用材獲得のための産業造林の組み合わせ ・植栽樹種: Guama、Laurel Negro、Jamacuagoなど(アグロフォレストリー)、Guama、Indio desnudo、Tamarindo de Montanaなど(環境植林)、マホガニー、Rosewoodなど(産業植林) ・対象面積: 2,600ha(アグロフォレストリー600ha、環境植林1,000ha、産業植林1,000ha) ・クレジットタイプ: ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0020のプロジェクト概要

A/R WG Round8において、見直しが必要であると事前勧告

プロジェクト名	Afforestation for Combating Desertification in Aohan County, Northern China
ホスト国 及び実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・中国 ・Xinhui Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Shuangjin Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Gulubanhao Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Sanyijin Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Mutouyunzi Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Matoushan Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Chenjiawazi Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・Forestry Farm, Aohan County, P.R. China ・China National Committee for Implementing Programmes for Combating Desertification(CCICCD) ・The Italian Ministry of the Environment and Territory
開始時期	2005/01(20年間×2回)
想定されるCER量	293,974 t-CO ₂ (20年間)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・風害、砂害による土壌浸食を受ける地域への防砂林建設などを目的とした新規植林 ・植栽樹種:ポプラ、<i>Hedysarum mongolicum</i>(共に風害、砂害に耐性) ・対象面積:3,000 ha ・クレジットタイプ:ICER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0022のプロジェクト概要

A/R WG Round9で審査予定

プロジェクト名	Afforestation of the cropland through agroforestry practices in 3,658 ha. area in Khammam District of Andhra Pradesh, India under ITC's Farm Forestry Project
ホスト国 及び実施者	・インド国 ・ITC Limited, Paperboards and Specialty Papers Division(PSPD), Unit: Bhadrachalam
開始時期	2000/01(30年間)
想定されるCER量	1,429,464 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	・農業、伝統システムにより減少した森林率回復を行うITCによる、耕作地へのアグロフォレストリーを伴う新規植林 ・植栽樹種:ユーカリ ・対象面積:3,658 ha ・クレジットタイプ:ICER

ARNM0023のプロジェクト概要

A/R WG Round9で審査予定

プロジェクト名	Rubber outgrowing and carbon sequestration in Ghana(ROCS-Ghana)
ホスト国 及び実施者	・ガーナ国 ・Ministry of Food and Agriculture, Directorate of Crop Services, on behalf of the Government of Ghana ・Rubber Outgrower Unit(ROU), Ghana Rubber Estate Ltd(GREL) ・Rubber Outgrowers Agents Association(ROAA)
開始時期	2006/05(30年間)
想定されるCER量	4,994,248 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	・ガーナ・ゴム・マスタープランに則ったゴム産業促進のための再植林 ・植栽樹種:ゴム ・対象面積:15,000ha ・クレジットタイプ:tCER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0024のプロジェクト概要

A/R WG Round9で審査予定

プロジェクト名	San Nicolas CDM Reforestation Project
ホスト国 及び実施者	・コロンビア国 ・Private Entity Corporation Masbosques
開始時期	2006/8(20年間×2回)
想定されるCER量	1,534,515 t-CO ₂ (40年間)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・放棄牧草地へのアグロフォレストリーシステムの導入 (4タイプの森林造成、7タイプのアグロフォレストリー、1タイプのシルボ・パストラル(林業・畜産業)による再植林) ・植栽樹種: <i>Alnus acuminata</i>、マツなど(森林造成)、<i>Cinus limon</i>、<i>Quararibea</i>など(アグロフォレストリー)、<i>Persa Americana</i>、ユーカリなど(シルボ・パストラル) ・対象面積: 8,730 ha(森林造成5,050 ha、アグロフォレストリー2,480 ha、シルボ・パストラル1,200 ha) ・クレジットタイプ: tCER

8-1. 提出(or承認)されている新方法論のプロジェクト事例概要

ARNM0025のプロジェクト概要

A/R WG Round9で審査予定

プロジェクト名	Selva Central Climate Action Project
ホスト国及び実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルー国 ・Local farmers and herders, Distritos (districts) de Chontabamba, Huancabamba, Oxapampa, Palcazu, Pozuzo, and Villa Rica, Peru ・Fundation Peruana para la Conservacion de la Naturaleza (Pro Naturaleza) ・The Nature Conservancy ・Universidad Nacional Agraria La Molina
開始時期	2006/11(30年間)
想定されるCER量	1,062,000 t-CO ₂ (30年間)
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農地、牧草地への水源涵養、生物多様性の保全を目的とした郷土樹種による再植林 ・植栽樹種:20種類の郷土樹種 ・対象面積:7,000 ha ・クレジットタイプ:ICER

最新情報は、UNFCCC、CDMウェブサイトの「A/R CDMプロジェクト活動の新方法論」(下記)を参照
 CDM-Home > Methodologies > Afforestation / Reforestation Methodologies

Methodologies for afforestation and reforestation CDM project activities

<<http://cdm.unfccc.int/methodologies/ARmethodologies>>

8-2. 主要途上国の森林所管組織情報

Food and Agriculture Organization (FAO) of the United Nations
Forestry

Forestry Department country profiles

インターネットで閲覧可能: FAO-Home > Forestry-Home > Country Information

<http://www.fao.org/forestry/foris/webview/forestry2/index.jsp?siteId=5081&sitetreeId=18307&langId=1&geold=0>1. 国名を選択
> Select a country2. 管理から組織を選択
> Management
> Institution

FOOD AND AGRICULTURE ORGANIZATION OF THE UNITED NATIONS
helping to build a world without hunger

Forestry

Forestry home | FAO home | english | español | français | العربية | 中文

about FAO forestry | country information | contact us | site index | search | help

FAO Forestry Department country pages | www.fao.org/forestry/site/18307/en

URL of this page: www.fao.org/forestry/site/country-info/en | send by email

Forestry Department country profiles

The FAO Forestry Department country profiles site offers information on selected forest issues for all countries in the world.

Select a country to the **left** and explore the subjects listed.

Distribution of Forests

Web site FAO Forestry - part of World Agricultural Information Centre

URL of this page: www.fao.org/forestry/site/country-info/en | send by email

8-3. 主要国DNA情報

UNFCCCのホームページで閲覧可能: CDM-Home > Designated National Authorities (DNA)
 <<http://cdm.unfccc.int/DNA>>

CDMのためのDNA一覧表

国名	組織住所 / コンタクト・パーソン	その他の情報
Albania ^	Climate Change Unit, Ministry of Environment Rruga "Duresit" No 27 Tirana; ALBANIA Ermira Fida (mirafida@icc-al.org) Manager, Climate Change Unit Phone: (355) 422 5101, (355-68) 202 9754 (Mobile) Fax: (355) 422 5101	Minimum values for forest (A/R projects)
Antigua and Barbuda		
Argentina		
・ ・		
Zimbabwe		166

8-4. DOE情報

UNFCCCのホームページで閲覧可能: CDM-Home > Designated Operational Entities (DOE)
<<http://cdm.unfccc.int/DOE>>

(信任済み)DOEのリスト
AE (Applicant Entity、申請組織)のリストとIndicative letter(指示書)
(各DOEの)分野別(対応可能)範囲と方法論
AEのリストー新方法論の提出
Accreditation(CDM理事会よりDOEとして認定)への応募
Accreditation(CDM理事会よりDOEとして認定)の基準
(審査中の)AEのリストーアドバイス要請
Accreditation指定の様式と手続き図
手続き図

8-5. A/R CDMに関する日本の調査研究事業の一覧(1990年以降)

	事業等の名称	委託者等	年次	主要な内容	炭素固定	造林技術	環境影響	社会経済影響	PDD作成	PDD審査検証	人材育成	受託者等	
1	熱帯林育成・利用技術の開発	林野庁	1991-2001	熱帯林の再生や産業植林に関する技術開発		●						熱帯林再生技術研究組合 (RETROF)	< http://www.d4.dion.ne.jp/~twra/ >
2	カーボンシンク・プロジェクト推進調査	林野庁	1992-1996	森林のCO2吸収量評価、木材の保全的利用法	●							国際緑化推進センター (JIFPRO)	< http://www.jifpro.or.jp/ >
3	新エネルギー等導入促進基礎調査 産業植林CO ₂ 固定化評価等に関する調査研究	通産省	1998-1999	産業植林のCO2吸収量評価	●							海外産業植林センター (JOPP)	< http://www.jopp.or.jp/ >
4	CDM/JIに関する検討調査委員会	環境省	1998-2000	事業設計計画書 (PDD) の作成指針の作成					●			パシフィックコンサルタンツ	< http://www.pacific.co.jp/ >
5	地球温暖化対策クリーン開発メカニズム事業調査	環境省	1999-	CDM/JI植林事業の実行可能性調査、PDD案の作成	●	●	●	●				地球環境センター (GEC)	< http://gec.jp/jp/index.html >

8-5. A/R CDMに関係する日本の調査研究事業の一覧(1990年以降)

	事業等の名称	委託者等	年次	主要な内容	炭素固定	造林技術	環境影響	社会経済影響	PDD作成	PDD審査検証	人材育成	受託者等	
6	開発途上国人工林環境影響調査事業	林野庁	2000-2002	熱帯における外国産早生樹造林の環境影響評価	●	●	●					海外産業植林センター(JOPP)	< http://www.jopp.or.jp/ >
7	海外植林情報整備事業 植林適地等把握調査	林野庁	2000-2004	中長伐期樹種人工林の成長量や植林コストに関するデータベースの作成	●	●						国際緑化推進センター(JIFPRO)	< http://www.jifpro.or.jp/ >
8	吸収源対策の第三者認証制度の試行事業	林野庁	2001-2002	指定運営組織(OE)がPDDの有効性審査(validation)、妥当性検証(verification)に使用するマニュアルの作成と試用						●		日本森林技術協会(JAFTA)	< http://www.jafta.or.jp/index-j.html >
9	インドネシア炭素固定森林経営実証調査	国際協力機構(JICA)	2001-2005	インドネシアにおける炭素固定植林の技術開発とデータベースの作成、公開	●	●		●				JICAインドネシア炭素固定森林経営実証調査プロジェクト	< http://www.cfm-p.org/ >

8-5. A/R CDMに関係する日本の調査研究事業の一覧(1990年以降)

	事業等の名称	委託者等	年次	主要内容	炭素固定	造林技術	環境影響	社会経済影響	PDD作成	PDD審査検証	人材育成	受託者等	
10	CDM植林促進技術開発事業	林野庁	2001-2002	AIJ林業プロジェクトの事例解析、吸収量とリーケージの評価手法、施肥による吸収量増加技術の開発	●	●		●				国際緑化推進センター (JIFPRO)	http://www.jifpro.or.jp/
11	JI、CDM植林クレジット技術指針調査	日本製紙連合会	2002-2003	CDM植林の情報収集とPDD作成指針の作成					●			海外産業植林センター (JOPP)	http://www.jopp.or.jp/
12	京都議定書吸収源としての森林機能評価に関する研究	環境省	2002-2006	CDM植林におけるリーケージ、炭素吸収量評価	●			●				早稲田大学	http://www.waseda.jp/human/
13	CDM植林基礎データ整備	林野庁	2003-2005	小規模環境植林の炭素量評価、コストと管理方式、環境・社会経済的影響、CDM理事会に提案された方法論の分析、投資シミュレーションプログラムの改善	●		●	●	●			森林総合研究所 (FFPRI)	http://www.ffpri.affrc.go.jp/

8-5. A/R CDMに関係する日本の調査研究事業の一覧(1990年以降)

	事業等の名称	委託者等	年次	主要な内容	炭素固定	造林技術	環境影響	社会経済影響	PDD作成	PDD審査検証	人材育成	受託者等	
14	CDM植林技術指針調査事業	林野庁	2003-2007	アジア、アメリカ、アフリカを念頭においたCDM植林の技術指針の作成	●		●	●	●			海外産業植林センター (JOPP)	< http://www.jopp.or.jp/ >
15	CDM植林ベースライン調査事業	林野庁	2003-2007	アジア、アフリカ、アメリカにおけるベースラインの地理情報や炭素量に関する情報収集		●						海外林業コンサルティング協会 (JOFCA)	< http://www.jofca.or.jp/ >
16	CDM植林人材育成事業	林野庁	2003-2007	CDM植林に関する人材育成							●	国際緑化推進センター (JIFPRO)	< http://www.jifpro.or.jp/ >
17	CDM植林が生物多様性に与える影響評価と予測技術の開発	環境省	2004-2008	CDM植林が生物多様性に及ぼす影響の分析			●					森林総合研究所 (FFPRI)	< http://www.ffpri.affrc.go.jp/ >

Kiyono, Y. (2004)を改変

8-6. 略語解説

略語	英語正式名称	日本語訳
AAU	Assigned Amount Unit	割当量の単位
AM	Approved Methodology	承認済み方法論
A/R	Afforestation and Reforestation	新規植林/再植林
CDM	Clean Development Mechanism	クリーン開発メカニズム
CER	Certified Emission Reduction	認証された排出削減量(CDMの実施によつて生じた排出削減量に基づくクレジット)
COP	Conference of the Parties (to the UNFCCC)	(気候変動枠組条約の)締約国会議
COP/MOP	the Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Kyoto Protocol	京都議定書締約国会議
DNA	Designated National Authority	指定国家機関
DOE	Designated Operational Entity	指定運営組織
EB	the CDM Executive Board	CDM理事会
ERU	Emission Reduction Unit	排出削減単位(JIの実施によつて生じた排出削減量に基づくクレジット)
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
GWP	Global Warming Potential	地球温暖化係数
HFCs	Hydrofluorocarbon	ハイドロフルオロカーボン
IPCC	Intergovernmental Panel on Climate Change	気候変動に関する政府間パネル

8. 参考資料

8-6. 略語解説

略語	英語正式名称	日本語訳
JI	Joint Implementation	共同実施
KM	Kyoto Mechanisms	京都メカニズム
KP	Kyoto Protocol	京都議定書
LULUCF	Land Use, Land-Use Change and Forestry	土地利用・土地利用変化・林業
MP	Methodologies Panel	方法論パネル
NM	New Methodology	新方法論
OE	Operational Entity	運営組織
Party	Country or regional integration organization which has ratified the KP, unless otherwise specified	京都議定書を批准している国家又は地域統合機関
PDD	Project Design Document	プロジェクト設計書
PFCs	Perfluorocarbons	パーフルオロカーボン
PP	Project Participant	プロジェクト参加者
RMU	Removal Unit	除去単位(吸収源活動に基づくクレジット)
SF6	Sulfur Hexafluoride	六フッ化硫黄
SOP	Share of Proceeds	分担金
SSC	Small Scale	小規模
UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change	国連気候変動枠組条約

8-7. 引用資料

出版物、WEBサイト等

資料名	URL
国連気候変動枠組み条約 United Nations Framework Convention on Climate Change (UNFCCC)	< http://unfccc.int/2860.php >
IPCC第三次評価報告書～第一作業部会報告書 気候変化2001 科学的根拠 政策決定者向けの要約(気象庁訳)	< http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/ipcc_tar/spm/spm.htm >
京都メカニズム情報プラットフォーム	< http://www.kyomecha.org/index.html >
環境省地球環境局 地球温暖化対策課(2006) 図説京都メカニズム第5.1版	< http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/illustr_3ed/ja.pdf >
経済産業省(2004)京都メカニズム専門家人材育成事業 CDM/JI 標準教材	< http://www.meti.go.jp/policy/global_environment/ >
林野庁(CDM植林ヘルプデスク)	< http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/cdm/top.htm >
EU排出量取引市場	< http://europa.eu.int/comm/environment/climat/emission.htm >
日本・自主参加型排出量取引制度	< http://www.et.chikyukankyo.com/index.html >
Forest Stewardship Council (FSC)	< http://www.fsc.org/en/ >
International Tropical Timber Organization (ITTO)	< http://www.itto.or.jp/live/index.jsp >
International Organization for Standardization (ISO)	< http://www.iso.org/iso/en/ISOOnline.frontpage >
国際自然保護連合(IUCN)	< http://www.iucn.org/ > or < http://www.iucn.jp/ >
Kiyono, Y. (2004) Studies and research related to CDM afforestation and reforestation project activities. Proceedings of the international symposium/workshop on the Kyoto mechanism and conservation of 174 tropical forest ecosystems, 29-30 January 2004, 59-66.	

通常規模(大規模)A/R CDMプロジェクト活動関係

本資料内の 略称例	対応する文書番号又はタイトル	URL
[CDM A/R M&P]	Modalities and procedures for afforestation and reforestation project activities under the CDM - Decision 19/CP.9 (FCCC/CP/2003/6/Add.2)	< http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/dec19_CP9/English/decisions_18_19_CP.9.pdf >
[CDM-AR-PDD]	Clean development mechanism Project Design Document for afforestation and reforestation project activities	< http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/cdm_ar_pdd/English/CDM_AR_PDD.pdf > (WORD) < http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/cdm_ar_pdd/English/CDM_AR_PDD.pdf > (PDF)
[CDM-AR-NM]	Clean development mechanism proposed new baseline and monitoring methodologies for A/R	< http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/cdm_ar_nm/English/CDM_AR_NM.pdf > (WORD) < http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/cdm_ar_nm/English/CDM_AR_NM.pdf > (PDF)
[GUIDELINES CDM-AR-PDD & CDM-AR-NM]	Clean development mechanism guidelines for completing the project design document for A/R (CDM-AR-PDD), the proposed new methodology for A/R: baseline and monitoring (CDM-AR-NM)	< http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/Guidel_Pdd_AR/English/Guidelines_CDM-AR-PDD_AR-NM.pdf >

小規模A/R CDMプロジェクト活動関係

本資料内の 略称例	対応する文書番号又はタイトル	URL
[CDM A/R Simplified SSC M&P]	Simplified modalities and procedures for small-scale afforestation and reforestation project activities under the clean development mechanism in the first commitment period of the Kyoto Protocol and measures to facilitate their implementation - Decision 14/CP.9 (FCCC/CP/2004/10/Add.2)	< http://unfccc.int/resource/docs/cop10/10a02.pdf#page=26 >
[CDM-AR-SSC-PDD]	Project Design Document Form for small-scale afforestation and reforestation project activities	< http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/cdm_ar_ssc_pdd/English/CDM_SSC_AR_PDD.doc > (WORD) < http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/cdm_ar_ssc_pdd/English/CDM_AR_SSC_PDD.pdf > (PDF)
[GUIDELINES CDM-SSC-AR-PDD & F-CDM-SSC-AR-Subm]	Guidelines for completing the simplified project design document for small scale A/R (CDM-SSCAR-PDD) and the form for submissions on methodologies for small scale AR CDM project activities (F-CDM-SSC-AR-Subm)	< http://cdm.unfccc.int/Reference/Documents/Guidel_AR_SSC_Pdd/English/Guidel_CDM_AR_SSC_PDD.pdf >
[A/R simplified SSC B&M methodologies]	Simplified baseline and monitoring methodologies for selected small-scale afforestation and reforestation project activities under the clean development Mechanism	< http://cdm.unfccc.int/methodologies/ARmethodologies/AR_SSC_Annex_II.pdf >

その他、ツール等

本資料内の 略称例 [] 内	対応する文書番号又はタイトル	URL
[A/R land eligibility]	Procedures to define the eligibility of lands for afforestation and reforestation project activities (EB 22 Report Annex 16)	< http://cdm.unfccc.int/EB/Meetings/022/eb22_repan16.pdf >
[A/R additionality tool]	Tool for the demonstration and assessment of additionality in AR project activities (EB 21 Report Annex 16)	< http://cdm.unfccc.int/methodologies/ARmethodologies/AdditionalityTools/Additionality_tool.pdf >
[A/R methodologies clarification]	Clarifications regarding methodologies for afforestation and reforestation CDM project activities, B. Leakage (EB 22 Report Annex 15)	< http://cdm.unfccc.int/EB/022/eb22_repan15.pdf >
[GPG-LULUCF]	Good practice guidance for land use, land use change and forestry	< http://www.ipcc-nggip.iges.or.jp/public/gpglulucf/gpglulucf.htm >
[Revised 1996 IPCC Guidelines]	Revised 1996 IPCC guidelines for national greenhouse gas inventories	< http://www.ipcc-nggip.iges.or.jp/public/gl/invs1.htm >
[GPG 2000]	Good practice guidance and uncertainty management in national greenhouse gas inventories	< http://www.ipcc-nggip.iges.or.jp/public/gp/english/ >
[CP/1997/7/Add1, p31 para3]	FCCC/CP/1997/7/Add.1, page31 paragraph3	< http://unfccc.int/resource/docs/cop3/07a01.pdf >



独立行政法人 森林総合研究所

温暖化対応推進拠点

〒305-8687

茨城県つくば市松の里1

電話: 029-873-3211 FAX: 029-874-3720

ホームページ: <http://ss.ffpri.affrc.go.jp/index.html>

電子メール: www@ffpri.affrc.go.jp

掲載した情報の正確さには万全を期していますが、森林総合研究所は、本資料の利用によって被った損害、損失に対して、いかなる場合でも一切の責任を負いません。